

いっしょに子育て（グループ相談）

「いっしょ子育て」では、グループ相談で講師の方からお聞きしたお話しやアドバイスを分かりやすく掲載します。“こんな時どうしたらいいのかな…” “これでいいのかな…” そんな気持ちを抱いた時に参考にして下さいね。

5/21「子どもの歯について」

講師：青葉 達夫さん（青葉こどもと親の歯科医院院長）

生後5ヵ月～1歳8ヵ月のお子さんとママ15組30名が参加。皆さんメモを取りながら真剣に話を聞いていました。参加者からは、「わからないこと不安なことが多い歯についてのお話が聞けて良かったです」「今後も歯磨きを頑張っていていこうと思います。」などの感想がありました。

子どもの歯の悩みQ&A（一部抜粋）



Q. 歯磨きを嫌がるがどうしたらいいでしょうか？

A. 「虫歯になってしまうから歯磨きは必要」という事をお母さんがお子さんに笑顔で伝えながら、嫌がられても歯磨きをしてください。終わった後は「頑張ったね！」の一言と、ぎゅーっと抱きしめてあげてほしいです。

Q. 虫歯の予防はどうしたらいいでしょうか？

A. やはり歯磨きです。特に上下の奥歯ほど虫歯になりやすく、下の前歯が1番虫歯になりにくいと言われています。奥歯は毎日丁寧に磨いてください。また、お母さんの仕上げ磨きも大切です。

Q. 歯ぎしりをするのが心配なのですが……

A. 子どもの歯ぎしりはほとんどが成長過程の行動なので心配はありません。成長とともになくなっていきます。逆に、大人になってからの歯ぎしりは何らかの病気が隠れている場合もありますので、病院を受診してみてください。

Q. 永久歯が生えてから気をつけることはありますか？

A. 砂糖の濃い食べ物や1番歯にはよくないので、それをたくさん食べないように気をつけてほしいです。ただ、幼児期に砂糖の入った食べ物を極端に制限すると、永久歯の生え揃う学童期に、反動で無性に欲しくなったりするので、うまく調節をしてください。

6/18「手づくりおもちゃ」

講師：村岡 真由美さん（おもちゃコンサルタントマスター）

のびすく仙台のイベント「手づくりおもちゃをつくろう」でもお馴染みの村岡真由美さんを講師にお招きして開催。参加者のお母さんは「興味はあったけど、何をどう作って良いか？」という方が多く、実際に紙コップを利用した「ゆらゆらうさちゃん」を作ったり、たくさんの作品を紹介してもらい、遊びながら製作ポイントを教えていただくなど「手づくりおもちゃ」の世界をじっくりと堪能しました。

★発達に応じたおもちゃのヒント★

- ・0～3ヵ月（聴覚が発達）…心地良い音のするもの
- ・4～6ヵ月（視覚が発達）…ゆっくりと目で追って楽しめるもの
→ くるくるチャイムなど
- ・7～9ヵ月（触覚が発達）…パーツの大きい積み木、車、電車など
- ・10～12ヵ月（味覚の発達）…興味をどんどん引き出してあげられる物
言葉のやりとりを楽しめる絵本など

♪手づくりおもちゃの良さ

- ・子どもの発達段階に合わせられる
- ・身近な材料、廃材を利用して作ることができる
- ・壊れても直せる。また作ることができる

♪利用できるもの

- ・牛乳パック ・プリンやゼリーのカップ
- ・ラップのケースや芯 ・お菓子の箱
- ・トイレトペーパーの芯 ・チラシ

